

松山市障がい福祉に関するアンケート調査結果報告書（概要）

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、現在の第3期松山市障害者計画の計画期間が令和2年度までとなっていることから、障がい福祉に関する市民の意識を調査し、令和3年度からの次期計画の策定や今後の障がい福祉施策を計画的に進めるための検討資料とすることを目的に、障害者差別解消法の認知度や障がい福祉施策に関する意見などを把握するため実施した。

2 調査対象

松山市在住の18歳以上の者 500人

3 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出
郵送による配布・回収 無記名

4 調査期間

令和2年7月～8月

5 回収結果

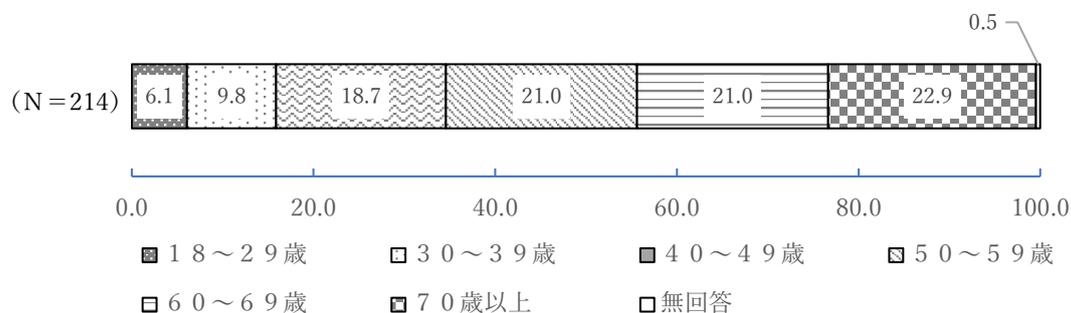
配布数：500件 有効回収数：214件 有効回収率：42.8%

II 調査結果

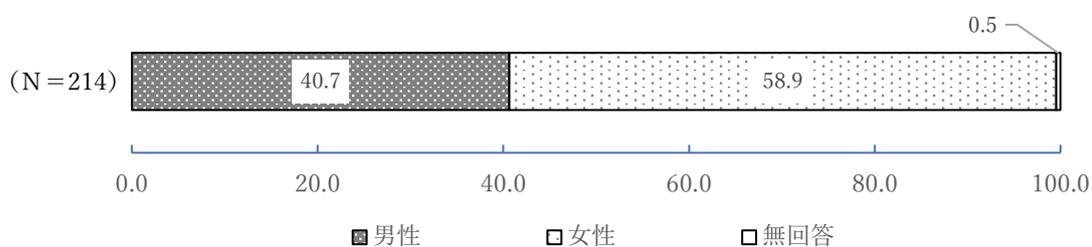
- ・図表に示すNは、比率算出上の基数（標本数）で、全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記しています。
- ・集計は小数点以下第2位を四捨五入しており、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の複数回答が可能な質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。

1 属性

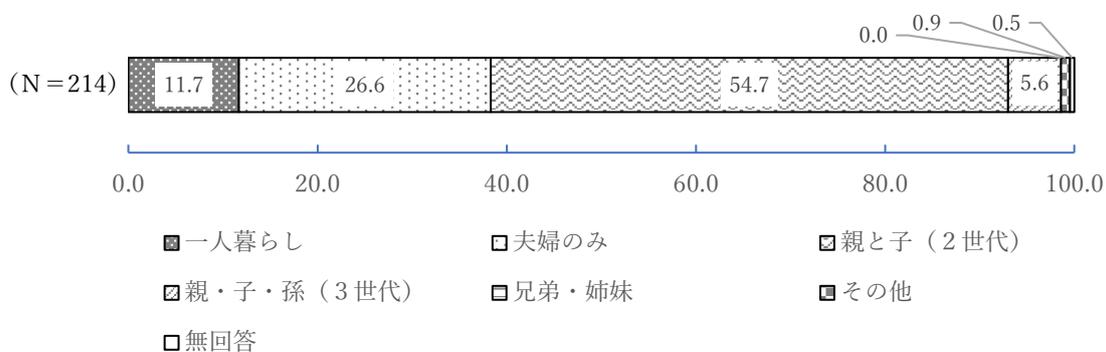
(1) 年齢（令和2年4月1日現在）



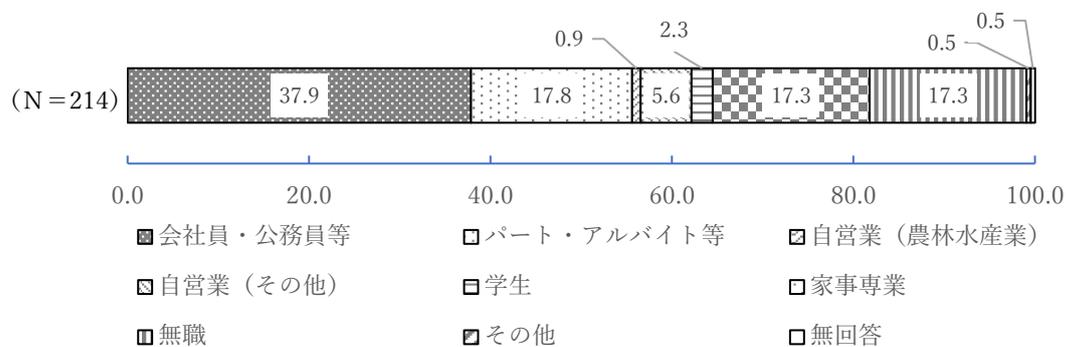
(2) 性別



(3) 家族構成



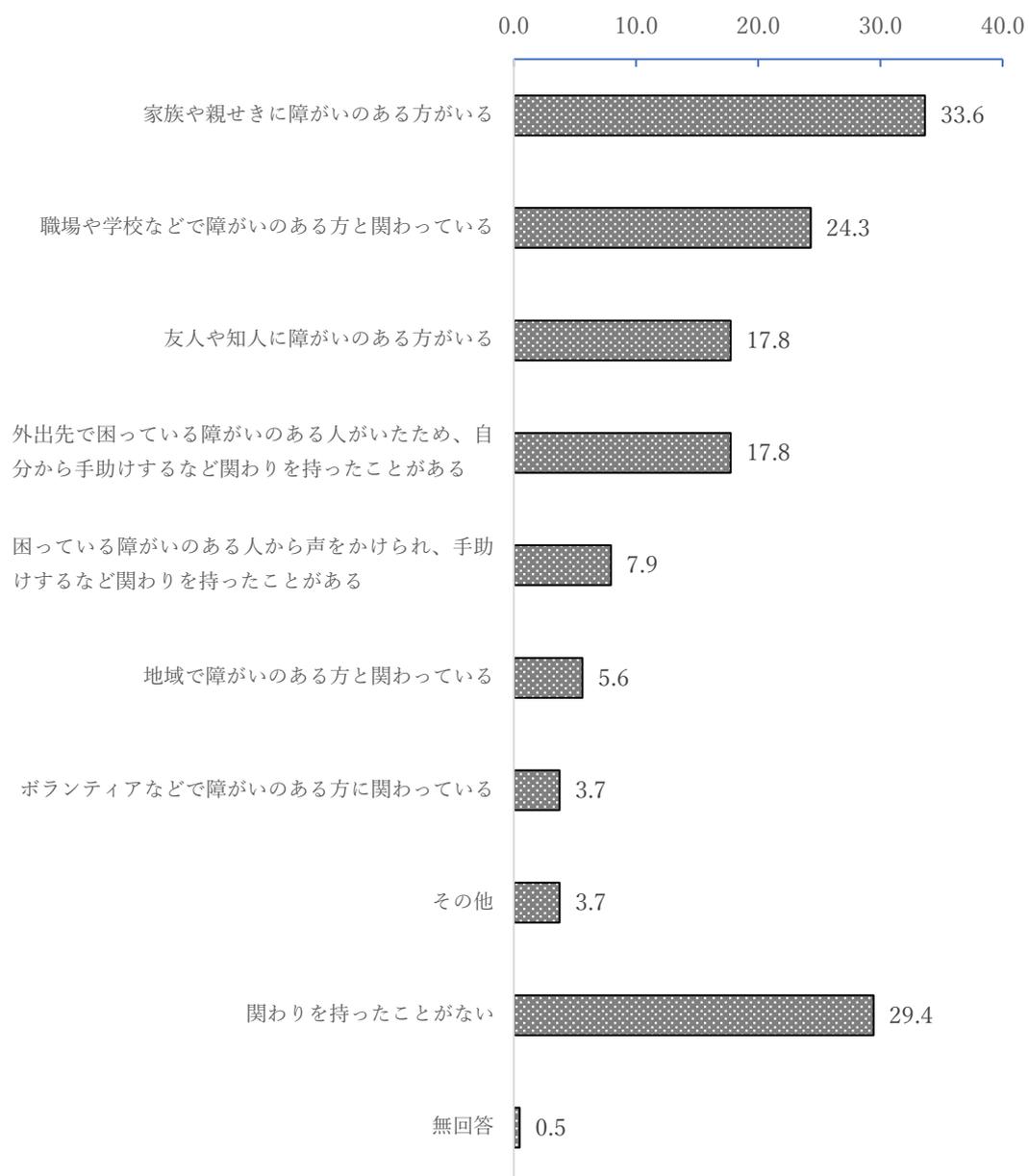
(4) 職業



2 障がいのある方との関わり

(1) 関わり状況

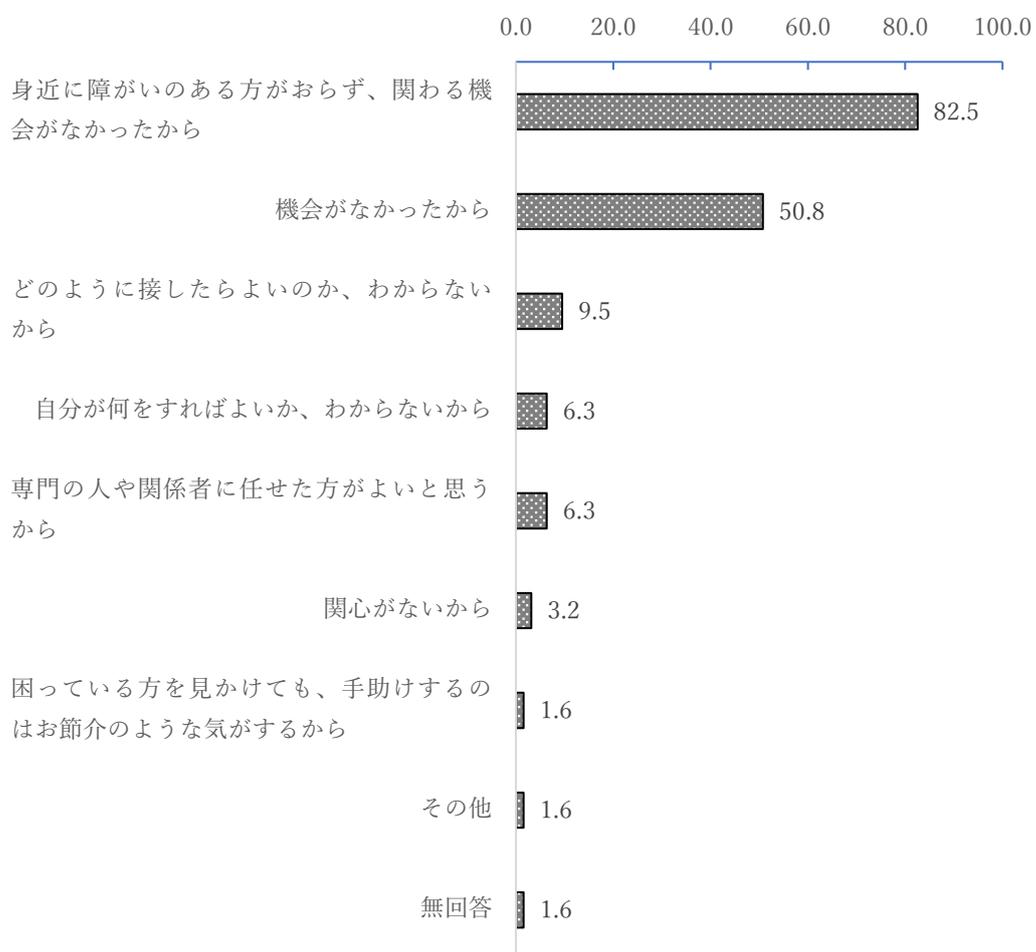
これまでの生活で障がいのある方と関わりを持ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



(N = 214)

(2) 関わりがなかった理由

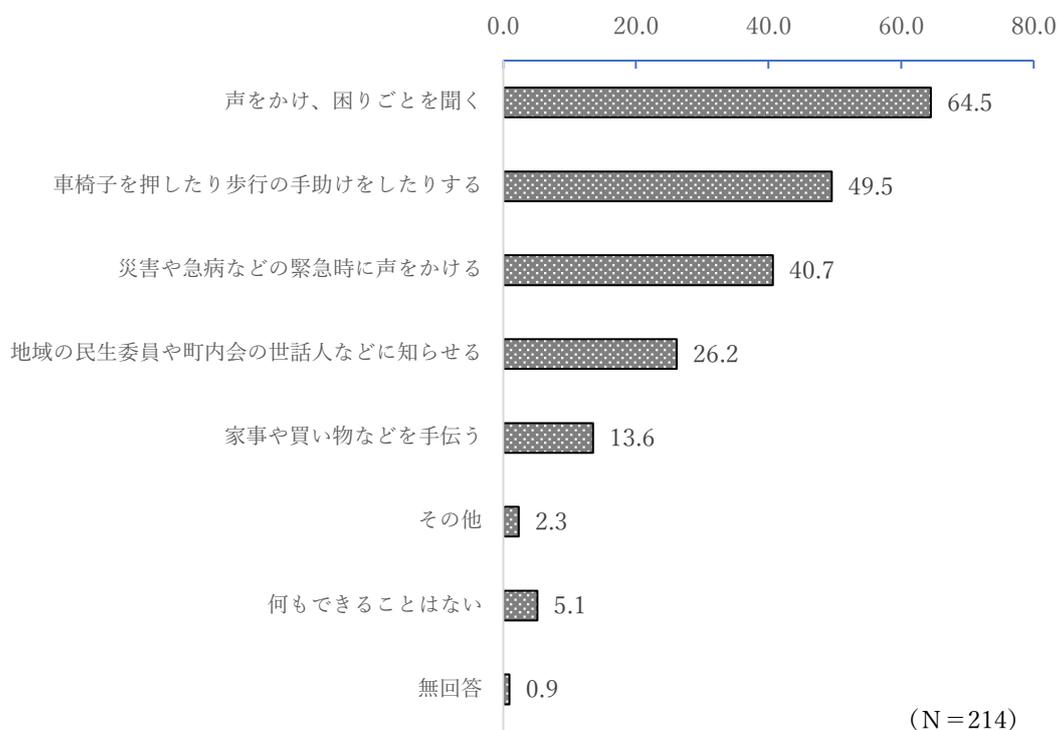
(関わりを持ったことがない方) 関わりを持ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(n = 63)

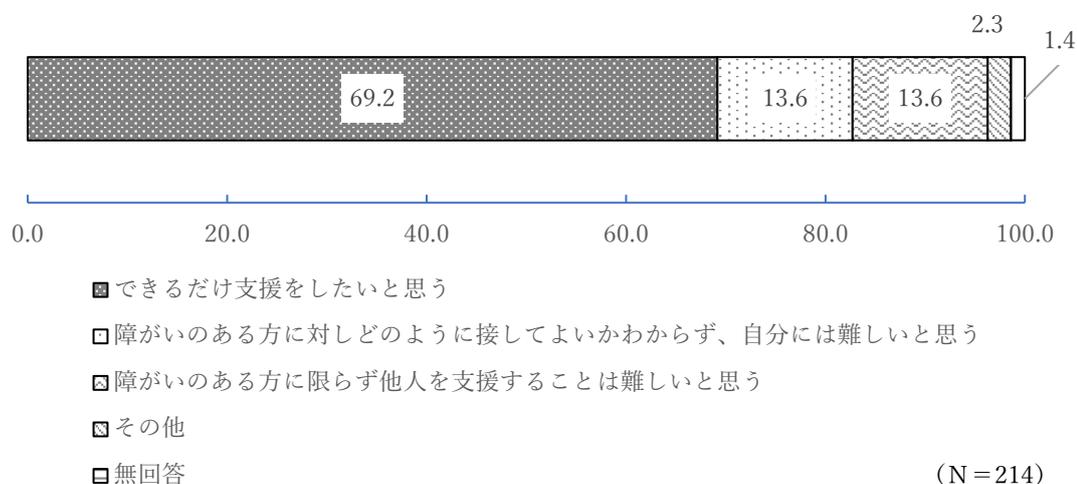
(3) 障がいのある方への支援

お住まいの地域で障がいのある方が困っていたら、その人にどのようなことができますか。(あてはまるものすべてに○)



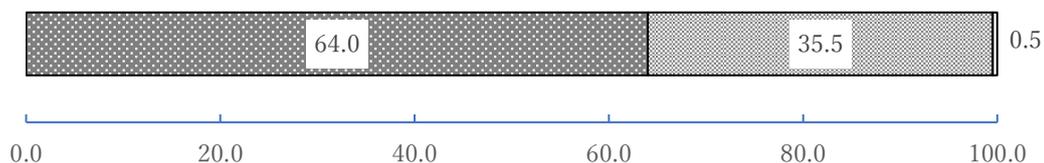
(4) 災害発生時の支援

災害が発生したときに、地域に住んでいる障がいのある方への支援（安否の声かけ、災害情報を伝える、避難誘導など）をすることについて、どのように思いますか。(○は1つ)



(5) 商品の購入履歴

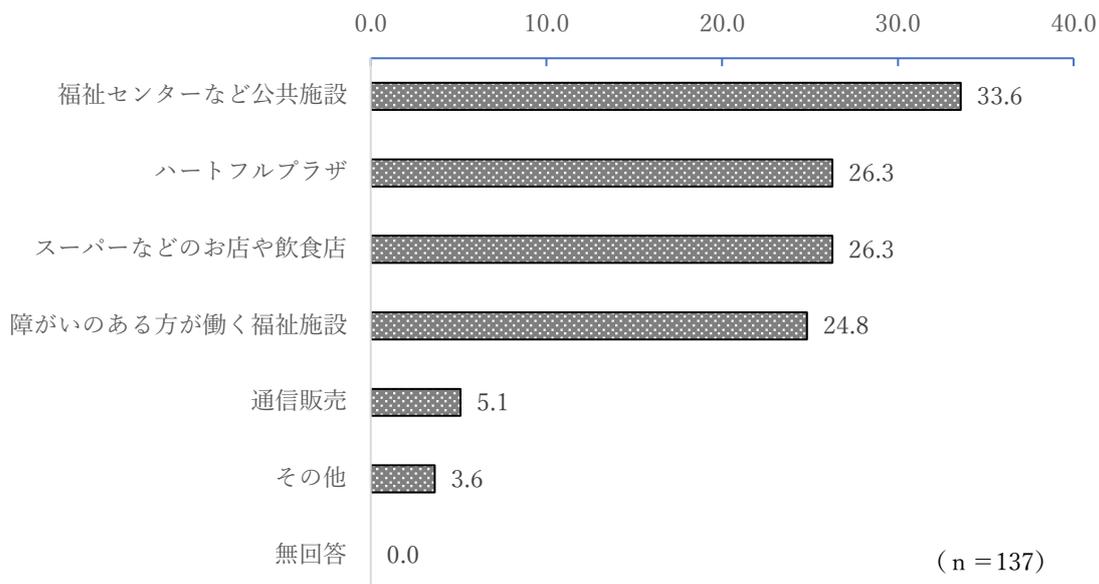
これまでに、障がいのある方が作った商品を買ったことがありますか。 (○は1つ)



■ 買ったことがある ■ 買ったことがない □ 無回答 (N=214)

(6) 購入場所

(購入履歴がある方) その商品をどこで購入しましたか。(あてはまるものすべてに○)

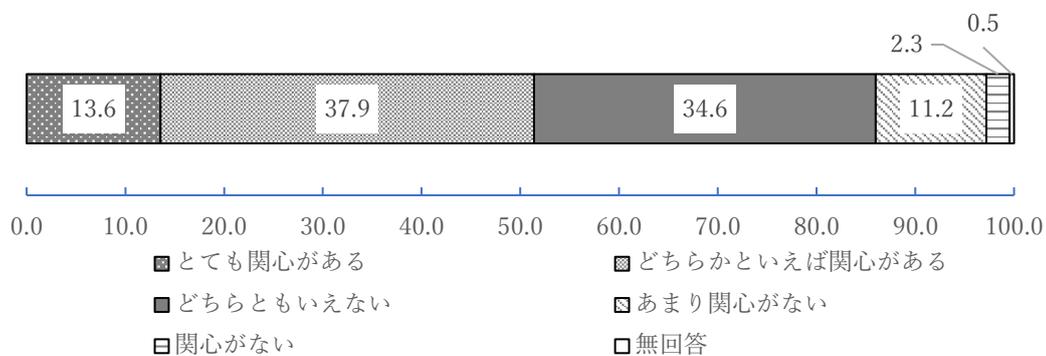


(n = 137)

3 障がい福祉に関すること

(1) 障がい者福祉への関心

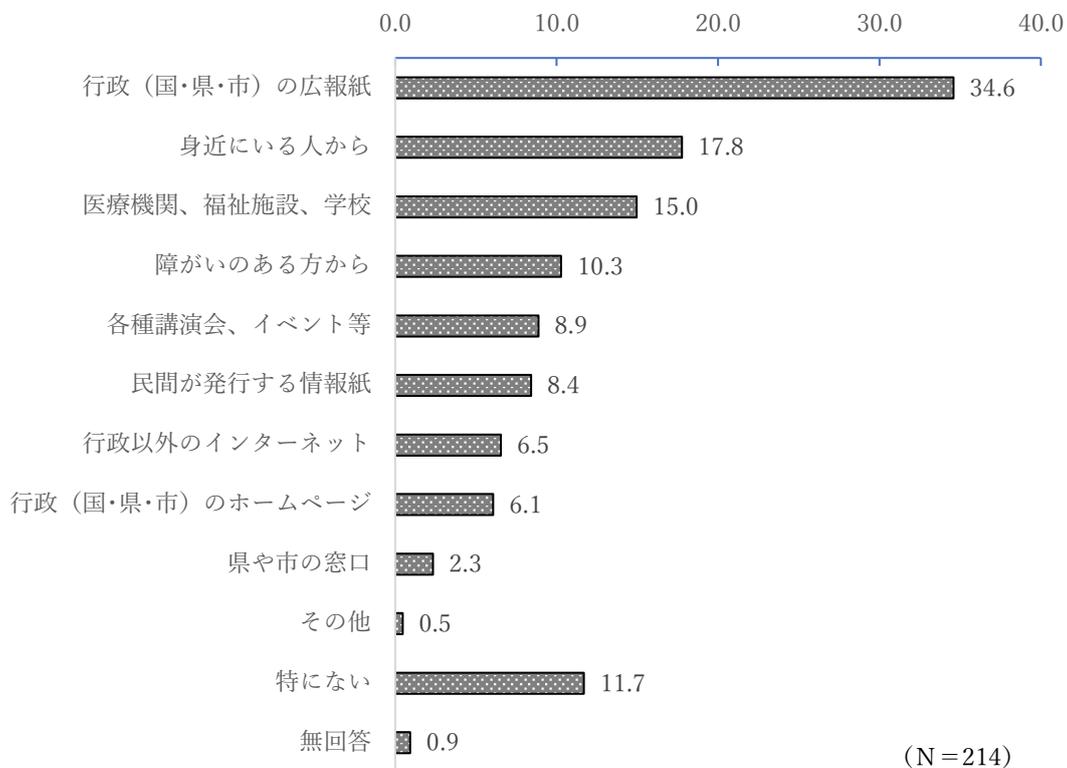
障がいのある方のことや、障がい者福祉について関心をお持ちですか。(○は1つ)



(N=214)

(2) 情報入手

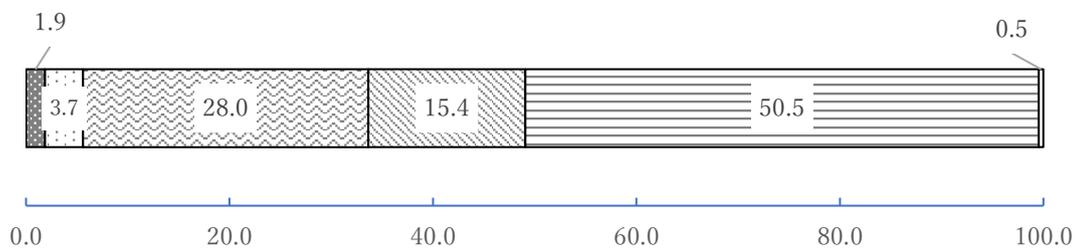
日頃、「障がい」や「障がい者の福祉」などに関する情報を、どこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



(N=214)

(3) ヘルプマーク、ヘルプカードの認知度

「ヘルプマークやヘルプカード」(説明は別添参照)を知っていますか。(○は1つ)

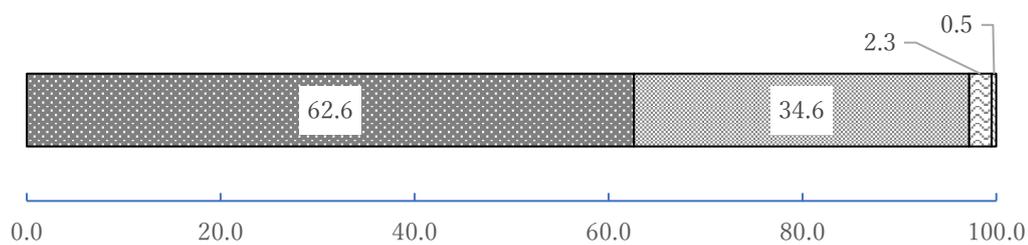


- 意味を理解し、使用している
- 意味を理解し、身に着けた人を支援 (声かけ、座席を譲るなど) したことがある
- 意味を知っており、見たり聞いたりしたことがある
- 意味はわからないが、見たり聞いたりしたことがある
- 見聞きしたことがない
- 無回答

(N=214)

(4) 発達障がい※の認知度

発達障がい※を知っていますか。(○は1つ)

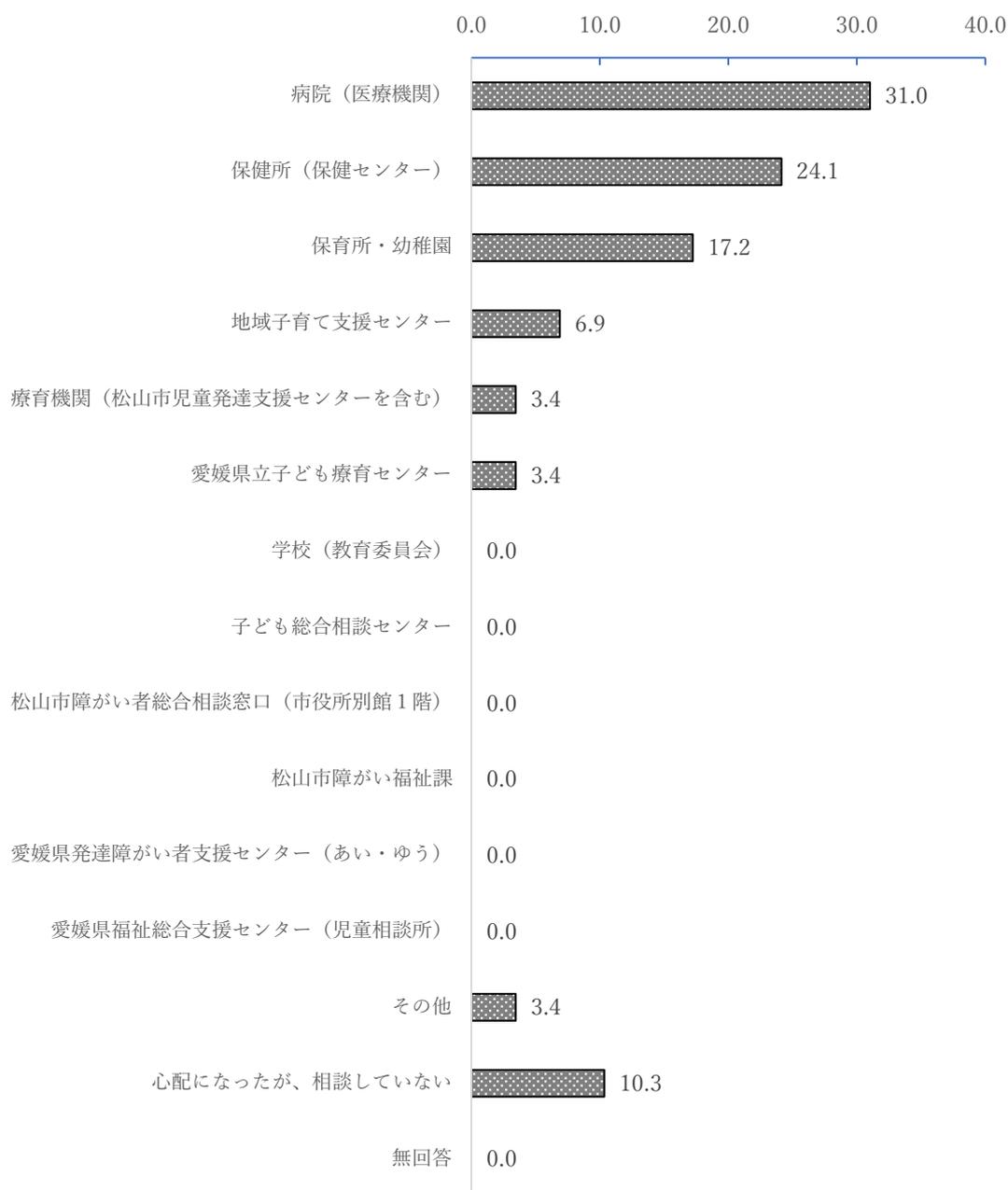


- 名称も内容も知っている
- 名称は知っているが、内容は知らない
- 知らない
- 無回答

(N=214)

(5) 相談した場所（窓口）

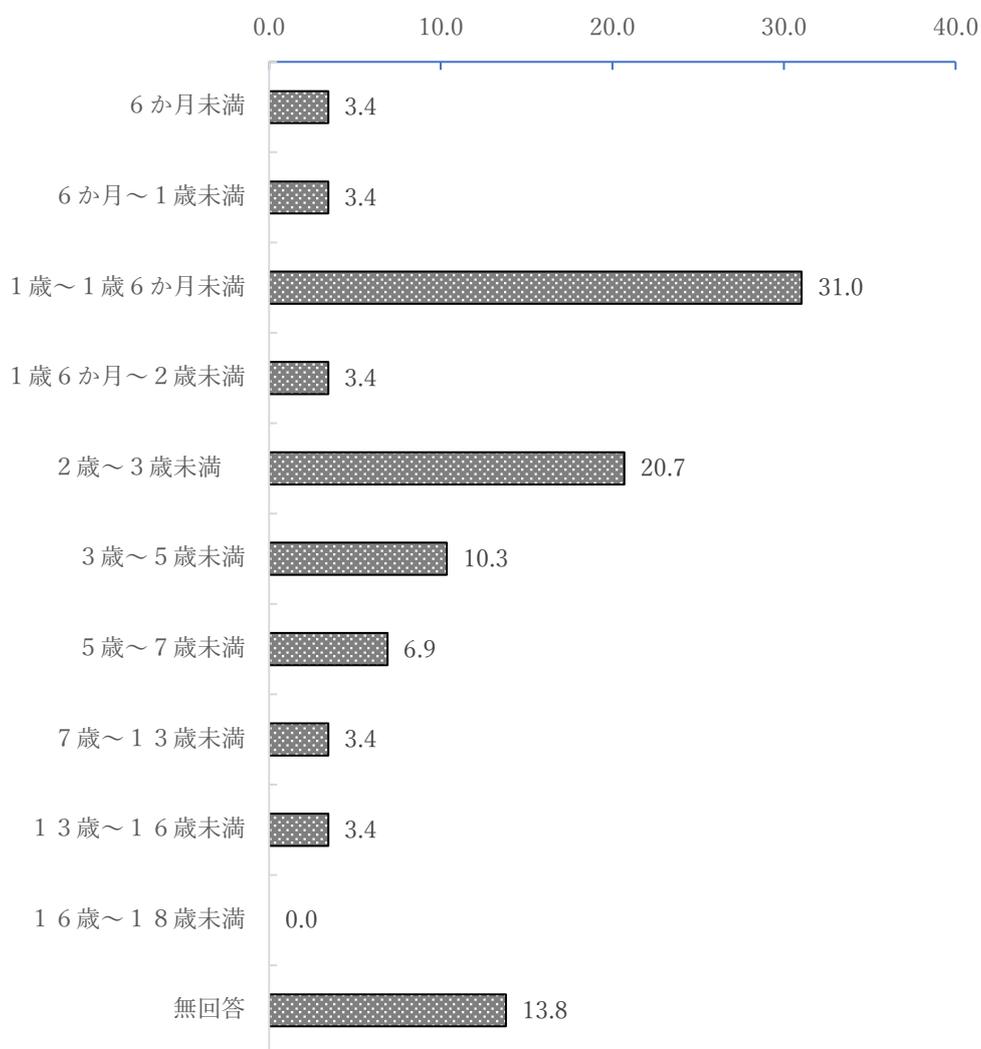
（子育て（18歳未満）されている方）これまでに、あなたは、あなたのお子さんの発達状況や行動が心配になり、一番初めに相談した場所（窓口）はどこですか。（○は1つ）



(n=29)

(6) 心配になった時期

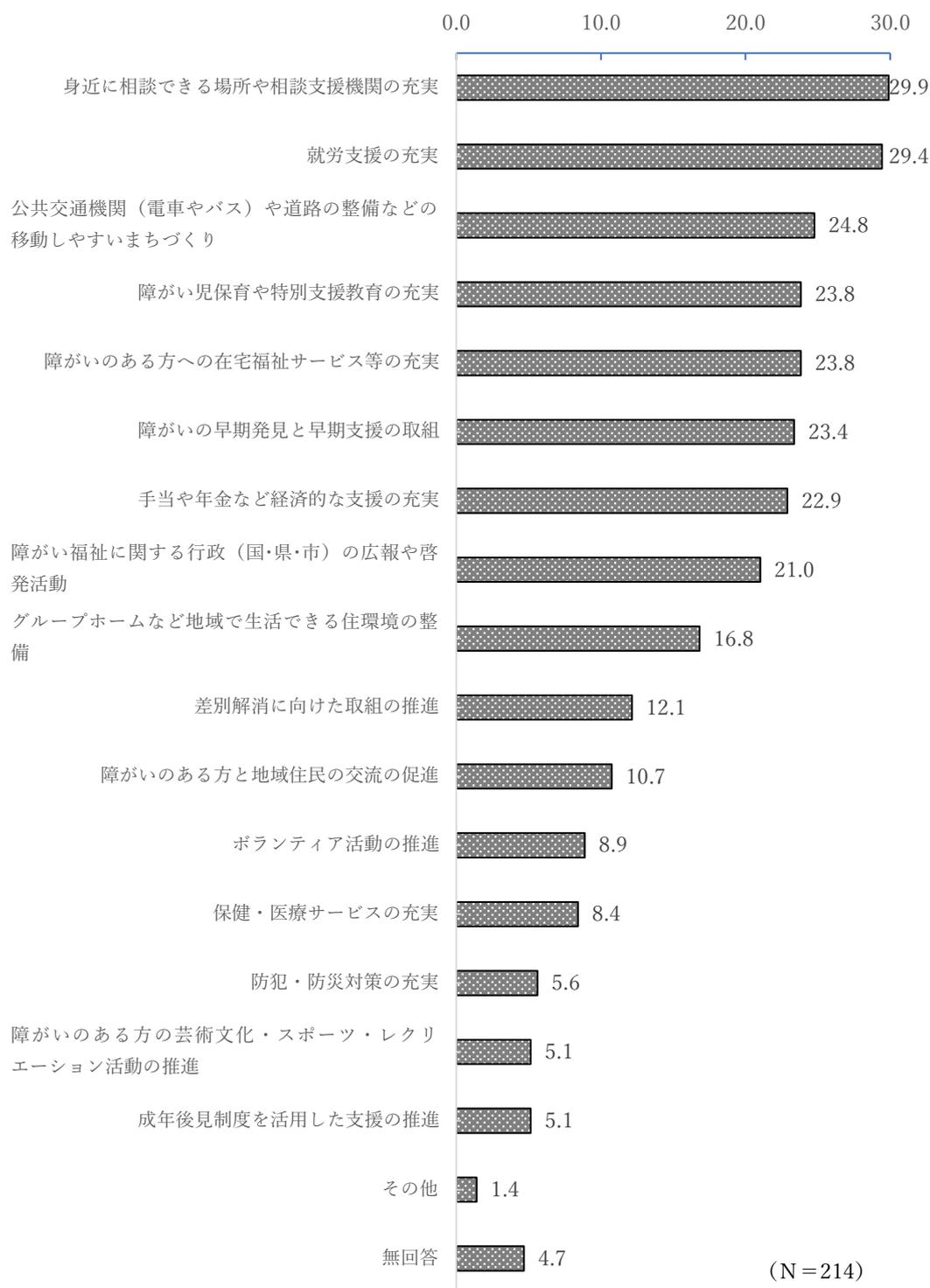
(子どもの成長を心配したことがある方) お子さんの発達状況や行動が心配になったのは、いつ頃ですか。(○は1つ)



(n = 29)

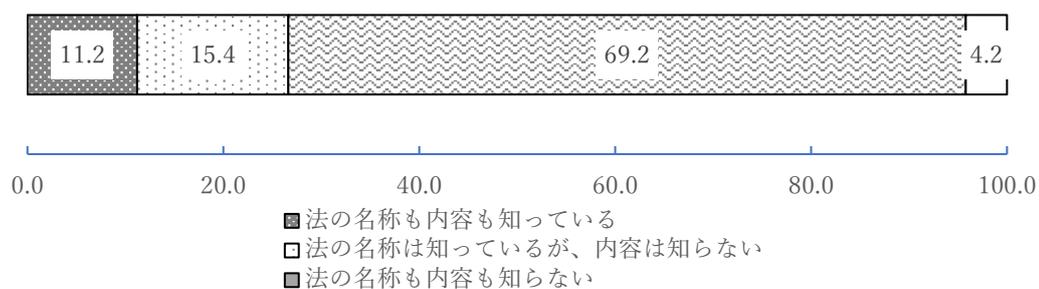
(7) 安心な生活に必要なこと

障がいのある方が地域で安心して生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○)



(8) 障害者差別解消法の認知度

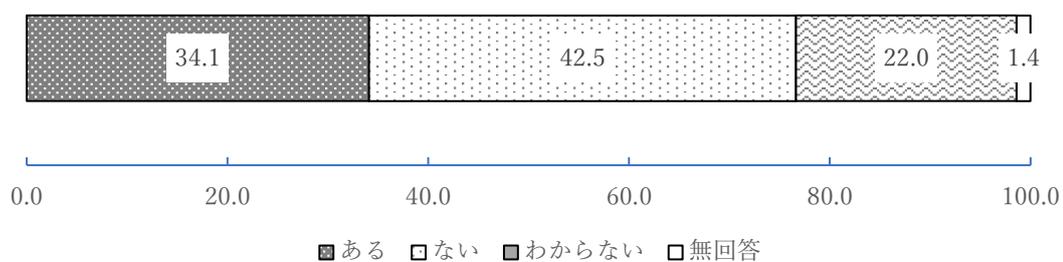
障害者差別解消法※を知っていますか。(○は1つ)



(N = 214)

(9) 差別の見聞き

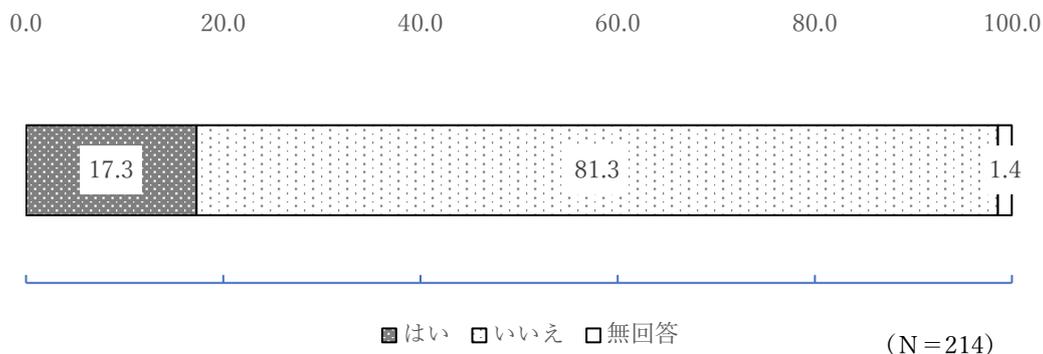
障がいのある方が差別されている状況を見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)



(N = 214)

(10) 過去の差別意識

過去に障がいのある方に偏見や差別意識を持ったことがありますか。(○は1つ)



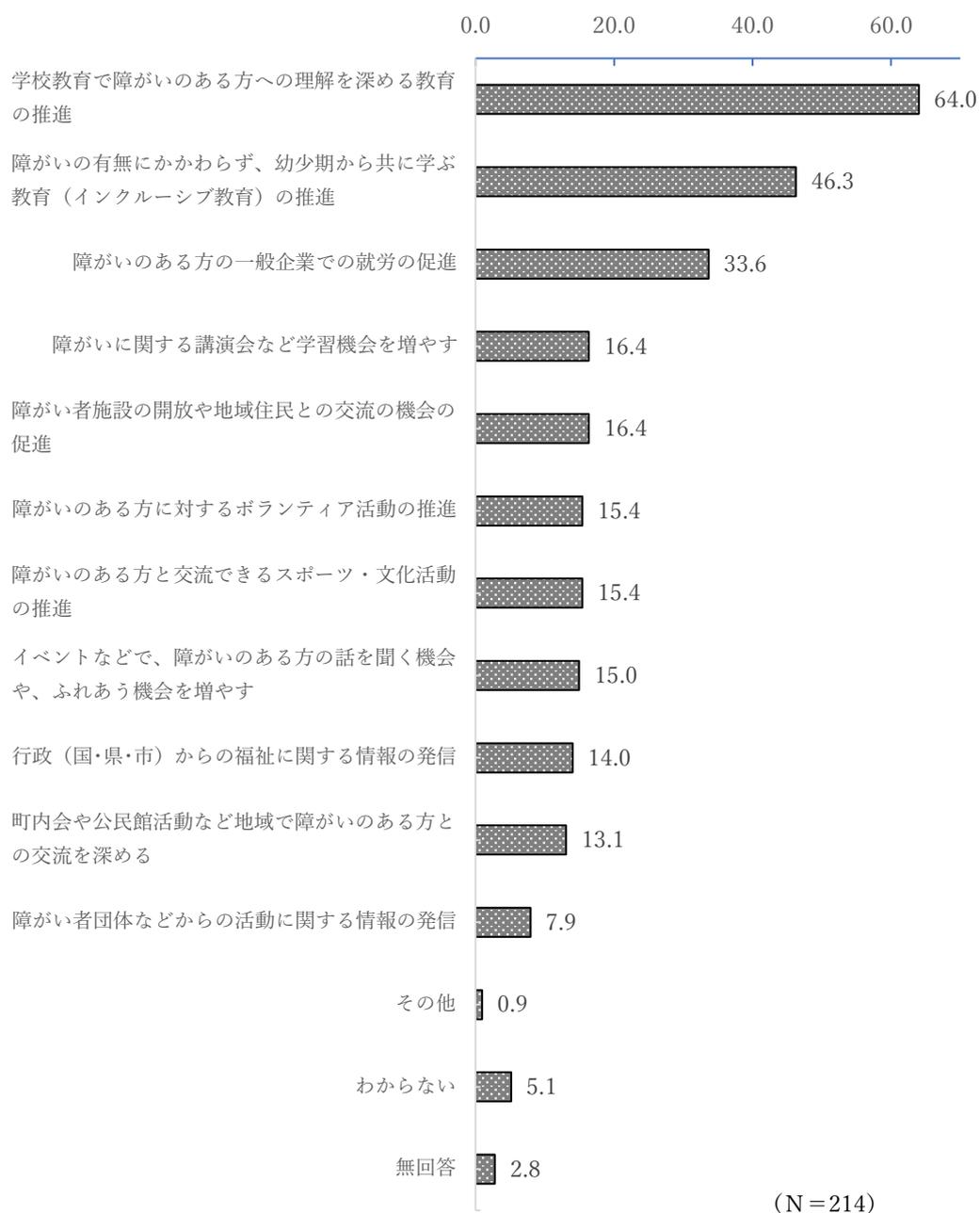
(11) 差別意識を持った場面

(差別意識を持ったことがある方に対し) どういったときに、どのような偏見や差別意識を持ちましたか。(自由記載)

- ・接し方がわからず、反感を持たれるのではないかと恐れていた。
- ・自分の子どもが障がい者となるまでは親や家庭に問題があると思っていた。
- ・障害がいのある方と一緒にいた時、周りの人にどう思われているか気になった。
- ・子どもの頃、落ち着きのない友人がいて迷惑と感じていた。子どもの頃から学ぶ機会があれば悩まずに済むと思う。
- ・精神障がいのある人が周囲の人を傷つけたニュース見たとき。

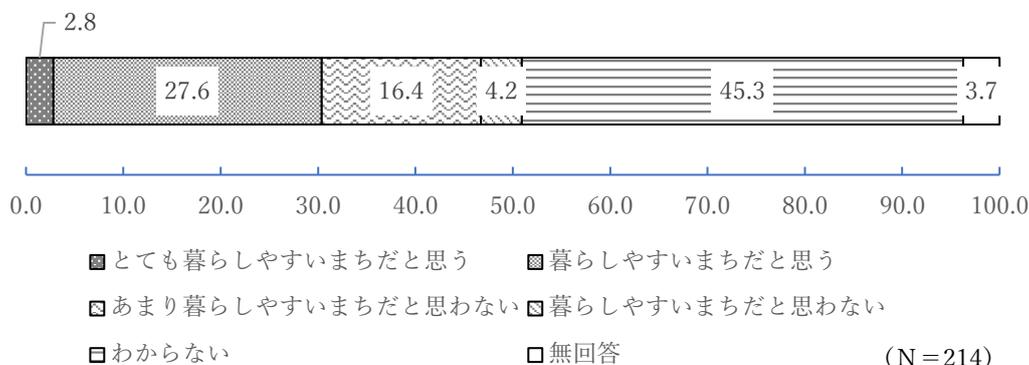
(12) 障がい者の理解に必要なこと

障がい者に対する理解を深めていくために必要なことは何だと思えますか。
(主なものを3つまで○)



(13) 暮らしやすさ

障がいのある方にとって、松山市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)



(14) 暮らしやすさに対する回答理由

暮らしやすさへの回答理由を教えてください。(自由記載)

(暮らしやすい)

- ・豊かな自然があり、温かい人が多く助け合っている。特別大きな災害がない。
- ・困った人に手を差し出そうとしてくれる気持ちの人が多く感じている。
- ・子どもに障がいがあり、仕事を探したいと困っていた時に、市の窓口で対応してもらい仕事をしている。
- ・在宅のサービス等が充実している。

(暮らしやすくない)

- ・障がいのある方が社会に出かけやすいインフラ整備がまだ十分でない。
- ・車いすで移動しやすい歩道の整備が必要。
- ・ショートステイに空きがなく、自由に利用できない
- ・障がいのある方が生き生きと働く場所が少ない。学校を卒業後、就労を目指す支援や教育が十分ではない。
- ・街中で障がいのある方をあまり見かけず、関わる機会も少ない。暮らしやすいまちであればもっと見かけると思う。

(わからない)

- ・実際に障がいのある方からの声を聞いていない。
- ・暮らしやすいかどうかは障がいのある方が判断すべき
- ・行政や障がい者団体等が何をやっているか内容を全く知らない。
- ・他の自治体の状況を知らないため比べることができない。

(15) 障がい福祉への意見

障がい福祉に関して日頃感じられていることやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・発達障がい児は外見では健常児と区別ができないため、親のしつけの悪さと受け取られやすい。世間での認知度が低いと思われるため、広報や啓発活動を通して理解を深めることが第一歩だと思う。
- ・人と関わる仕事をしており、少しでも障がいのことを知りたいと思うが難しい。もっとスマートフォンなどで簡単に多くの人に知っていただけるような情報発信をしていただきたい。
- ・障がいのある子どもの保護者への支援（心のケア）が十分ではない。自由に相談できる場所があればと思う。（実際はあるかもしれないがわからない）
- ・卒業後の居場所づくりも課題である。
- ・学校教育の中で健常者の子どもと協力し合える行事を企画し分かり合える機会を作ることが大事。
- ・障がい者の家族への支援が必要。
- ・一人で悩まないで相談できる場所と質の向上を目指していただきたい
- ・まだまだ障がいのある方への整備が足りていない。自分が障がい者になったら暮らしにくいと思う。
- ・障がい者の社会進出に役立つようなイベントの開催があればいいと思う。
- ・障がいのある方と関われるスポーツ大会などはとても良いと思う。子どもたちも分かりやすく障がいについて学ぶことができると思う。
- ・同じ人間として分け隔てない社会への変革が必要。寛容の精神を教育することが大切
- ・今後はヘルプカードを意識していきたい
- ・障がいがあることに気付けば周りができることは増えてくる。もっと情報をオープンにし、気軽に相談できるようにしたらよい。支援の情報をもっと拡散して欲しい。
- ・地方であり、自動車を使うことが多いが公共交通機関の充実を望む。駐車場でも平気で、障がい者用のスペースに停めており、市民の意識改革が必要。
- ・障がいのある方が安全に暮らせるまちづくりを応援していきたい。
- ・これまで障がいのある方の暮らしを気にせず暮らしてきた・学校教育の中で障がいのある方の理解が深まる機会があれば良かった。今後は点字のある歩道などに気を付け、少しでも役に立ちたい。